

県庁舎跡地活用検討懇話会（少人数グループ別意見交換）

グループA 結果概要

- 1 日 時 平成25年2月12日（火）13時30分～15時30分
- 2 場 所 長崎県市町村会館4階第2会議室
- 3 出席者 阿野委員、奥委員、桐野委員、原田委員、村木委員（5名）
- 4 意見交換結果

○広場を整備し、その中に複合的な機能をもつ建物を上手に配置する。

- ・大きな建物は不要。建てすぎないこと。多機能なスペースがよい。
- ・最大限土地を有効活用する。（もったいない使い方にならないように。石垣も全て残す必要はない。）
- ・これまで懇話会で議論した各機能をベストミックスで入れていく。

○建物に入れる機能として、県民市民が気軽に使えるきちんとした小規模の文化・芸術ホールが必要。

- ・市が市役所跡地に整備予定のホールとは重複しないように。

○この場所の歴史的変遷を知ったり体感できるような工夫が必要。

- ・西役所があったことなどの情報の収め方、見せ方を工夫する。映像を活用。

○出島へのビューポイントを県庁の5、6階の高さに設ける。

- ・教科書に載っている出島は水門側からでは見えない。跡地から扇形の出島が見えるとなると、話題性があるのでは。

○交通アクセス（バスベイ）は必ず確保。

- ・跡地で乗客を降ろし、跡地から出島を俯瞰して、それから出島側に下りてもらい、出島見学後、今江戸町通りにあるバスベイで乗車してもらうといいのでは。（自家用車用はあまり要らない。）
- ・県庁の表通りから出島に抜ける動線（車は通さず歩行者のみ）が必要。

○出島と県庁の間の江戸町通りを、人が行き交う賑わいのある通りに。

- ・民間の力、若者のアイデアを活用して、魅力的な店ができて、人が集まるようにできれば。建物はあまり高くしない。

(その他)

○公会堂の代替機能の場所については市役所跡地を念頭に検討することとしているが、まだ確定させていない。1,000 席あればクリアできると考えており、検討懇話会での議論も踏まえて検討したい。(長崎市)